

# いしづち

愛媛労災病院広報誌第24巻第4号

（通巻第110号）

2024年10月5日発行

発行人：院長 木戸健司

## 理念

当院は働く人々のために、そして  
地域の人々のために信頼される  
医療を目指します

## 基本方針

1. インフォームドコンセントの実践
2. 安全かつ良質な医療の提供
3. 勤労者医療の推進

当院では、医の倫理と病院の理念に基づいた医療を積極的に推進して  
いくため、患者さんの基本的な『権利と責務』を、以下のよ  
うに宣言します。

### 【患者さんの権利】

- 1) 人としての尊厳を保ちながら、良質の医療を受ける権利
- 2) 十分な説明と情報提供を受け、自らの意思で治療法の決定  
やセカンドオピニオンを希望する権利
- 3) 個人に関するプライバシーを保護される権利

### 【患者さんの責務】

- 1) 疾病や医療を理解するよう努力する義務
- 2) 医療に積極的に取り組む義務
- 3) 快適な医療環境づくりに協力する義務



写真提供：ハートネットワーク

### Choosing Wisely「賢明な選択」

- 小児の軽症頭部外傷において頭部CT検査はどのような場合に推奨されるか？ ..... 2
- 職場復帰訪問指導の再開に向けて ..... 3

### HCU (High Care Unit 高度治療室) 紹介 ..... 3

- あいろう写真展を開催しました ..... 4

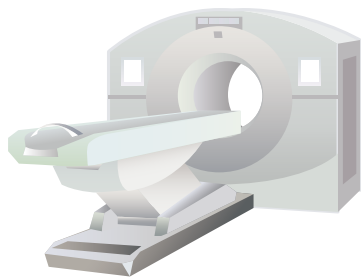
# Choosing Wisely「賢明な選択」 小児の軽症頭部外傷において頭部CT検査はどのような場合に推奨されるか？

脳神経外科 福井 啓二

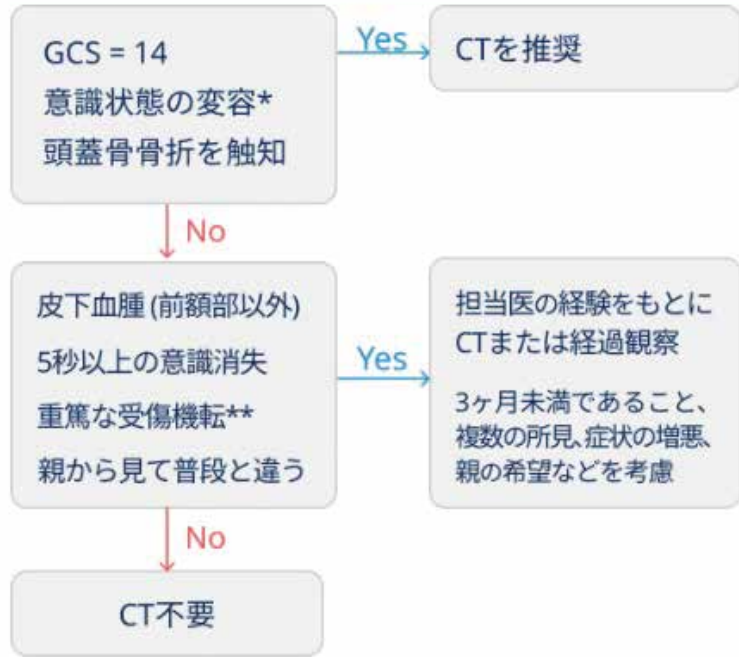
小児の軽症頭部外傷例のすべてに一律にCT検査を行う事は、被曝を考えた場合望ましく無いことは明らかですが、多くの場合両親は「念の為」とCT検査を希望されます。

PECARN (pediatric emergency are applied research network) によって、18歳未満のGCS14の頭部外傷患者に対して右記のフローチャートが推奨され、リスクが低い場合はCT検査を行うべきではないとされています。

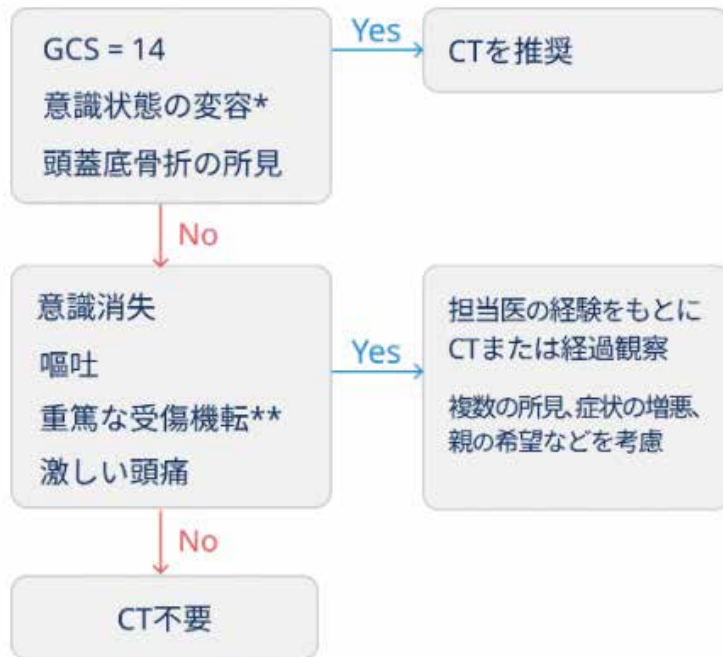
無駄な受診・被曝を避けるため、右記フローチャートに従って、小児頭部外傷患者のCT検査の適応を判断するのが良いと考えます。



## 2歳未満



## 2歳以上



\*不穏、傾眠、同じ質問を繰り返す、言語指示に対し反応鈍い

\*\*車外放出、同乗者死亡、横転事故、歩行者またはヘルメットのない二輪車対車の事故、0.9m以上からの転落、衝撃の強い物による打撃

## 職場復帰訪問指導の再開に向けて

中央リハビリテーション部 幸田 英二

労災病院として勤労者医療の推進は必要不可欠です。中央リハビリテーション部では、平成20年～平成26年の過去7年間で約50件の職場訪問の実績があります。職場訪問は、企業の上司の方にリハビリ担当者から治療経過や今後の治療計画を伝え、また実際の現場を見学して作業内容に則したりハビリプログラムを提供します。そして職場復帰に必要な動作指導や助言などを行い、職場復帰に向けての情報の共有と効果的な復職支援をすることを目的に行います。

患者さんも企業側も、復職する時期（タイミング）や身体的な問題だけでなく、本当に復帰が可能なのかなど心理的な不安もあると思います。そういった職場復帰を検

討する際の一助となれればと考えています。

令和6年10月から本格的に職場復帰訪問指導を再開（予定）します。中央リハビリテーション部には、両立支援コーディネーター（4名）もおり、スタッフ一丸となって患者さんの治療から生活、就労まで幅広く支援をしていきます。



## HCU (High Care Unit 高度治療室) 紹介

HCU師長 富林 春江

当院のHCU (High Care Unit 高度治療室) は、生命を急激に脅かす重症患者や、ハイリスクな術後患者の治療を集中的に行っています。

4床の病床数を有しており、高度治療部専任医師1名、看護師9名で専門的な治療と質の高い看護の提供に取り組んでいます。看護師は24時間、厳重なモニタリングやケアを実践し、緊張とプレッシャーの連続ですが、多くのチューブ類や機器に囲まれている患者の苦痛や不安を少しでも軽減できるように、「心のケア」を忘れず、スタッフ全員でチームワークを活かしてがんばっています。

今年はフレッシュな新人ナースを迎えました。先輩ナースの温かい指導のもと、一緒に成長していきたいと思っています。



## あいろう写真展を開催しました

愛媛労災病院では、職員から写真作品を募集し院内写真展を開催しています。

令和5年8月「海」というテーマで第1回を開催し、それに引き続き令和6年1月～2月にかけて第2回を開催いたしました。第2回のテーマは「あたたまるもの」です。食べものや体験したこと、家族・ペットの写真など心あたたまる写真作品が集まりました。写真展の開催期間中は、投票を行っており3位までの結果は以下のとおりです。

また、令和6年9月には「夏の報告書」というテーマで第3回の写真展を開催しました。体験したことや、食べもの・景色など夏を感じる様々な写真が集まりました。現在は結果を掲示しておりますので、是非ご覧ください。

応募された写真作品は、1階掲示板に掲示しており、患者さんや職員の癒しとなっています。労災病院にお立ち寄りのさいは、お気に入りの1枚を探してみてくださいはいかがでしょうか。



1



2



3



広報誌編集メンバー 委員長：福井副院長 委員：篠原放射線科部長、若林看護副部長、長野看護師長、高橋看護師長補佐、山内看護師長補佐、大成主任薬剤師、成田理学療法士、青野管理栄養士、後藤診療放射線技師、井上臨床検査技師、稲富総務課長、丸山総務課員、藤岡総務課員、池上総務課員、河西医事課員